

令和6年度 地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	さかい のりゆき	
氏名	酒井 紀之	
所属・役職	株式会社ソフトウェア開発 代表取締役社長 東北情報通信懇談会事務局長 多摩大学情報社会学研究所 客員研究員	
活動拠点	東北・関東・関西	
略歴	<p>1991年 福島県郡山市にてソフトウェア開発を起業(現)</p> <p>2011年 情報支援プロボノ・プラットフォーム(iSPP)共同代表理事(現・世話人)に就任し東日本大震災による被災地支援を実施</p> <p>2013年 公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所 共同研究員</p> <p>2017年 多摩大学情報社会学研究所 客員研究員</p> <p>2017年 総務省電子政府推進員・総務省テレワークマネージャ</p> <p>2017年 東北電気通信協力会長表彰</p> <p>2018年 東北情報通信懇談会事務局長</p> <p>2021 みやぎ産業振興機構 企業支援専門家</p>	
地域情報化の専門分野・技術	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク(基盤・Wi-Fi)及び情報システム・セキュリティ技術 ・情報関連システムの仕様策定に係る支援 ・地域活性化に伴う情報化アプリケーションの企画・開発に向けた支援 ・災害時における情報伝達手段等に係る助言 ・政府補助金・助成金等の申請に係る申請書等作成支援 <p>著書・インプレスジャパン書籍 『3.11 被災地の証言 -東日本大震災 情報行動調査で検証するデジタル大国・日本の盲点-』(共著) など</p>	
専門分野	<p>オープンデータ A I 活用 生成 A I 計画策定支援(地域情報化計画・官民データ計画・自治体 DX 推進計画等) 人材(DX推進のための機運の醸成) 人材(DXに関する知識習得・研修・育成) 人材(外部人材活用) 自治体システムの標準化・共通化 行政手続オンライン化 ネットワークインフラ(Wi-Fi/LPWA/光ネットワーク) デジタルデバインド対策 5G マイナンバー 防災 働き方子育て テレワーク RPA導入 スマートシティ その他</p>	
自治体向けメッセージ	<p>・市内ネットワーク(業務系・情報系・LGWAN)の設計・構築、長年にわたる運用経験があり、公共団体の情報システムの専門知識を有しております。加えて、主業である生産工場における自動化ライン構築の実績を応用し、RPA(業務自動化による生産性向上)の実装とアドバイスをしております。</p>	
関連サイト	<p>http://www.softwd.co.jp</p> <p>https://www.facebook.com/norisdsc</p>	

<p>地域情報化に関する実績</p>	<p>これまでの経験業務・研究活動</p>	<p>国際電気通信連合（ITU）・仙台シンポジウム、東北総合通信局・シンポジウム、ニューメディア開発協会・講演会、ハイパーネットワーク社会研究所・別府湾会議など、東日本大震災にまつわる ICT 関連の講演など。 (県) 情報系システム設計及び構築、運用等業務(民間として) (県) 差産業振興の一助として宮城産業振興機構の IT 専門家として企業を支援。 (県・市・町) 各種業務に係る選定委員、産業技術研究開発事業東審査委員 (総務省) 被災地域情報化推進事業に係る支援員 東日本大震災からの復興にあたり、被災自治体への支援を評価され、平成 29 年度東北電気通信協力会長表彰を受ける。 平成 30 年度より東北情報通信懇談会事務局長を拝命。 民間企業の一員としては、生産工場の自動化ラインや検査工程の上位ソフトウェアの開発など、主に FA 分野での実績が多数ある。オフィス分野としてはデータベースを活用した WEB システムや、RPA 情報システムを開発している。 近年では NTT 東日本の協力を得てテレワークや L5G の普及に力を入れているほか、自治体と事業者のマッチングにも力を入れている。</p>
	<p>これまでに関与した地域情報化に関するプロジェクト</p>	<p>(市) 情報システムアドバイザー (市) 総務省ふるさと元気事業・情報システムアドバイザー (市) 消防指令センター整備実施計画業務業者選定委員 (町) 基幹システム再構築（クラウド化）選定委員長 (県) 震災アーカイブ構築選定副委員長 (市) 共同クラウド化アドバイザー (市) 次世代通信 L5G の勉強会講師 (町) タブレットコンテンツ更新事業選定委員長 (国) 総務省被災地域情報化推進事業における支援員(受託事業) その他地域情報化アドバイザー及び ICT 地域マネージャ、テレワークマネージャ制度内における派遣実績多数。</p>